

【四谷まち歩き】実施報告書

まち歩き タイトル	荒木町界限
開催日	平成23年5月21日（土）
開催時間	集合午前10:00～解散12:00
参加人数	区民10名、職員1名

時間	場所	備考	所要 時間
集合 10:00	四谷三丁目消防署	事前説明 杉大門、車力門、三業地	8分
	三味線「ねこ屋」	こて絵について	3分
10:15	杉大門	四谷丸太について	2分
10:17	車力門	松平摂津の守屋敷について (御所車家紋) 清和源氏の末裔 日本すり鉢学会の話し (地形を考査する会)	5分
	なる駒 跡地		
10:28	とんかつ鈴新 荒木町公園	車力門せんべい試食 津の守芸者、津の守踊りの話・・・知識人(軍人・文人)の座敷が多く、絵画芸事等を切磋琢磨していた。	15分
10:52	すり鉢地形の観察	桐座 末広座	5分
10:58	策(むち)の池	滝見の名所であった旧滝(カップ池) 枯渇して池が小さくなり三業が発展した。	4分
11:12		休憩	10分
11:20		付近階段から地形を観察しながら江戸時代の松平屋敷跡を偲ぶ	5分
11:33		橘屋前、千葉、 他、風待ちロマン、前世カフェ、坊主バー 等話題の店について 永井荷風(今後も掘りおこす) 水師營の会見にちなむ「なつめの木」(荒木公園)について	
12:00	解散		

<p>四谷まち歩き振り返りの会テーマ【荒木町界隈について】 平成23年6月1日（水） 14:00～16:30 参加者 区民6名 職員1名</p>	
<p>よかったと思える点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史を紐解き、武勇伝だけではなく心を伝えたい。（ナツメの木）（乃木希典水師営の会見）美德の評価に触れ、地元の人に伝えたい。 ○荒木町のことは、よく知っていると思っていたが、知らない話が多く感銘を受けた。日露戦争について、もっと掘り下げて学びたいと感じた。 ○移動範囲がコンパクトでまち歩きコースとして適していたと感じた。 ○土手、池など地形を意識して歩いたことが良かった。ガイド解説で当時に思いを馳せながら歩け興味深かった。 ○ガイド説明は適切でよかったと思う。
<p>気づいた点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○今回のコースでは5, 6人のツアーが良いと思った。道も狭かったのでマイクを使う必要のない少人数で歩けるとよいと思う。 ○立ち寄る所には事前に、連絡させていただくことが必要。今回は事前に連絡していたお店の方が親切にご説明してくださり有難かった。
<p>今後のまち歩きについてヒント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○水師営の会見に縁ある「ナツメの木」をもっとPRしたい。地域文化財として区に推薦してはどうか。説明の看板も設置して欲しい。なつめは薬膳料理にも珍重されている。 ○移動距離（エリア）がせまく、時間内にまち歩きが終了した。今後もコースの距離（2キロ）を意識していきたい。 ○荒木町は昼と夜の顔が違う町なのでその側面にも触れてみてはいかがか。 ○コース内の横丁の説明が加わるとまち歩きにふくらみが出てくると思う。簡単な説明でよいので取り入れてみてはいかがか。 ○花街の話、太鼓持ち、芸妓学校（芸術、踊り、三味線等の手習いを学ぶ塾）を掘り起こして紹介できると興味を持っていただけれると思う。 ○三栄町にお住まいだった、人間国宝故常磐津菊三郎の出稽古場が荒木町にあったとご家族からお聞きしている。そのお話しからも荒木町の芸者さん方が芸事に非常に意識が高かったことを感じる。 →地域の財産として菊三郎のご家族の方にお話を伺い記録しておきたい。 ○三業界の専門用語についても触れてはいかがか。 ○実際歩くことで、広大な津の守屋敷を実感した。また、景勝地として栄えたころは舟遊びができた池では庶民も楽しめたのではないかと想像できた。 ○協議会の役割は地域課題の解決だけではなく、思い出を紡ぎ地域の財産として、次世代に伝えることもでもあると感じる。協議会の活動は人とのつながりである。今後は写真をキーワードにした活動も推進したい。
<p>検討事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「思い出の写真を集める企画」について・・・昔の写真を集める募集を開始する件について第1分科会とも連携して考えていきたい。

今後の方向性	<p>○町の歴史を知る古老、先祖代々の商いをされている方々の話を写真とともに残すことについて。</p> <p>→地域の方から写真を集め、思い出などを語っていただき、市井の方の声を後世に残せる記録を作成したい。</p> <p>→協議会の様々な活動と連動させながら推進していけると感じる。(シニア健康体操、とうがらし、花いっぱい、お宝さがし等)</p> <p>→町会誌、都電の思い出など題材は豊富かと思う。声掛けしていきたい。</p>
歴史博物館ガイドボランティアのアドバイス	<p>○樹木に関する歴史的な話は多い。ナツメも良い題材かと思う。</p> <p>例) 孔子のシナノ木、ヒポクラテスのプラタナス</p> <p>○高須4兄弟の話もその後与えられた子爵、男爵等の爵位のちがいについて触れると歴史ロマンが感じられると思う。</p> <p>○荒木町は歴史の宝庫。今の街並みに名残る歴史、住んでいる方の生の声を残(保存)しながらガイドマニュアルを作成していけばよいと思う。</p> <p>早稲田大学には詳しい先生もいらっしゃるので助言いただくのも一方法。</p> <p>○人を感動させるエピソードが大切。芸妓学校の話をもっと掘り起こしてはいかがか。日本画家の大家も荒木町に通っていたという話も残っている。</p> <p>【江戸四谷の謎についての質問事項に触れて】</p> <p>○人別帳に関しては研究レポートが出来上がっていて(歴博の)学芸員ならだれでも説明できる状況になっている。</p> <p>○寛永13年江戸城外堀の普請における都市計画についても資料があり説明できる。</p> <p>○忍者関連の質問への回答には限界がある。</p> <p>忍者についての資料は「忍び」(秘密)であるので当然ながら現存しない。</p>
今後のまち歩きについて	<p>○次回 信濃町界限 文学座見学予定</p> <p>○今後の予定 花園界限・玉川上水、新宿御苑散策・新宿4丁目付近等エリア別に計画して行く。</p>
仮称「江戸四谷の謎を探る」歴史博物館と語る会について	<p>○当初6、7月を予定していたが、実行委員会発足後、10月をめどに開催できるよう企画を再度見直していく。</p> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち歩きを繰り返さないと細やかな話をしていけないと感じた。 ・現時点で学芸員に確認したい「謎」だけでは物足りない。活発なパネルディスカッションにするために、意見を積み重ねたい。 ・実行委員会に応募された方々の意見も含めて計画していく。 ・陽運寺、お岩稻荷について当事者から話を伺いたいと思う。
実行委員募集について	<p>別紙チラシ参照 委員募集締切日6月末日</p>
次回の会議 まち歩き 予定日	<p>第1回観光まちづくり実行委員会 7月4日(月) 14:00~</p> <p>まち歩き 信濃町界限 7月16日(土) 10:00~12:00</p>

